

新規事業採択時評価結果（平成17年度新規事業化箇所）

担当課：国道・防災課

担当課長名：鈴木 克宗

事業の概要

事業名	一般国道496号 伊良原ダム付替道路	事業区分	一般国道	事業主体	福岡県
起終点	福岡県京都郡犀川町大字横瀬 福岡県京都郡犀川町大字上伊良原	延長	6.96km		
<p>事業概要</p> <p>一般国道496号は、福岡県行橋市を起点とし、大分県日田市に至る延長約53.9kmの幹線道路として地域住民の経済活動、通勤、通学等の日常生活に重要な役割を果たしている。伊良原ダム付替道路は、伊良原ダム建設事業に伴う付替道路とあわせ未改良区間の解消を目的とした延長約6.96kmの2車線道路である。</p>					
<p>事業の目的、必要性</p> <p>本区間は伊良原ダム建設工事に伴う付替道路であるため、ダム湖面の周辺整備事業と一体的な整備を行うものである。</p>					
全体事業費	23億円	計画交通量	2,400台/日		
<p>事業概要図</p>					

関係する地方公共団体等の意見

一般国道496号は幅員狭小のうえ、屈曲湾曲部が多く交通を阻害し、地域の振興に支障を来しているため、犀川町をはじめとする首長で構成されている京都郡町長会より国道の全線の改良の要望を平成16年6月に受けている。

伊良原ダムは、平成8年3月に水源地対策特別措置法のダム指定を受けているダムであり、水源地域整備計画の中で国道整備に関する要望が、地元町からあがっている。

事業採択の前提条件

便益が費用を上回っている

事業評価結果

費用対便益	B/C	1.6	総費用：25億円 （事業費：19億円 維持管理費：6億円）	総便益：39億円 （走行時間短縮便益：33億円 走行費用減少便益：5億円 交通事故減少便益：0億円）	基準年 平成16年
	事業の影響				
事業の影響	自動車や歩行者への影響	評価項目	評価	根拠	
	自動車や歩行者への影響	渋滞対策	-	注目すべき影響はない。	
		事故対策	-	注目すべき影響はない。	
	社会全体への影響	歩行空間		歩行者の安全性向上 (現在歩道が無い区間に歩道が設置される：歩行者予測交通量約200人/日である区間 整備後の歩道幅員2.5m)	
		住民生活		新規整備の公共公益施設へ直結する道路である。 (町役場支所、郵便局等水没により移転する公共施設へのアクセス向上)	
		地域経済	-	注目すべき影響はない。	
災害			緊急輸送道路を形成 (現道の屈曲部[Rmin15m、23箇所]が解消され、一次緊急輸送道路の機能確保が図られる。)		
環境		Co2排出量の削減 (本区間の整備により自動車からのCo2排出量が516t/年削減される)			
地域社会		主要な観光地へのアクセス向上 (主要な観光地(蛇淵の滝・キャンプ場)[年間入込客数1.2万人]への利便性が向上される)			
事業実施環境			伊良原ダム水源地域整備計画(水源地域特別措置法)に位置づけされている		

採択の理由

費用対便益が1.6と、便益が費用を上回っていることから、事業採択の前提条件が確認できる。

また、当該事業は伊良原ダム建設工事に伴う付替道路であり、一次緊急輸送道路の機能確保が図られるなど、事業の必要性・効果は高いと判断できる。

以上より、本事業を採択した。

総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。